

経営比較分析表（令和2年度決算）

石川県 穴水町

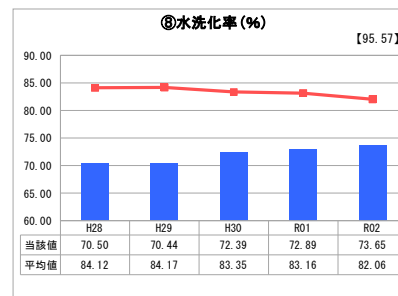
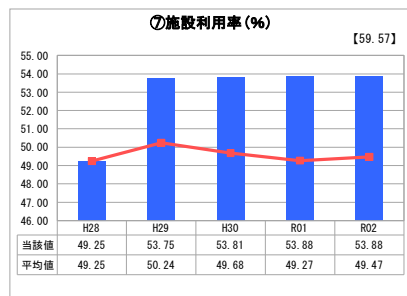
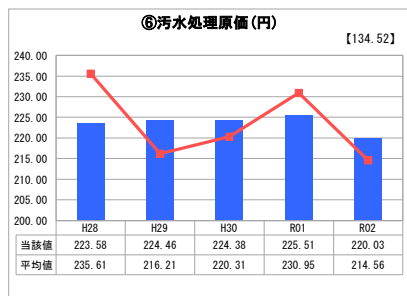
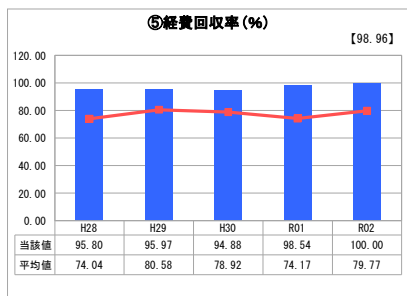
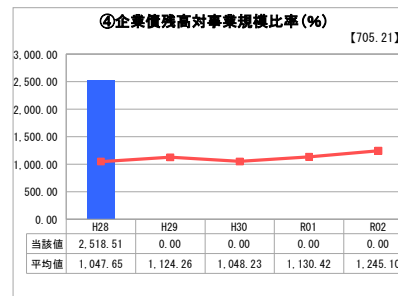
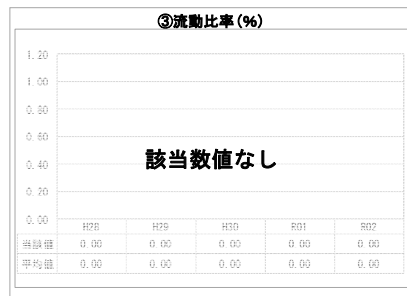
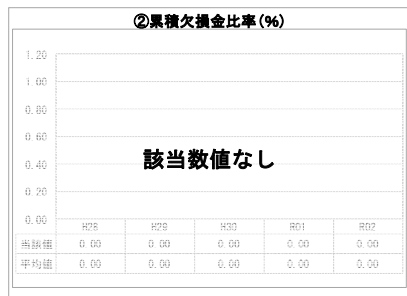
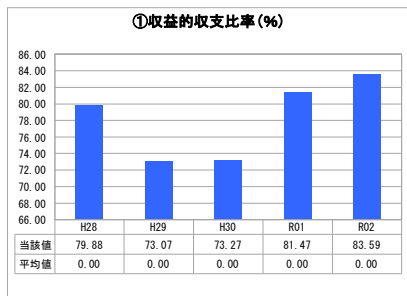
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	40.63	98.76	3,960

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,885	183.21	43.04
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,184	1.46	2,180.82

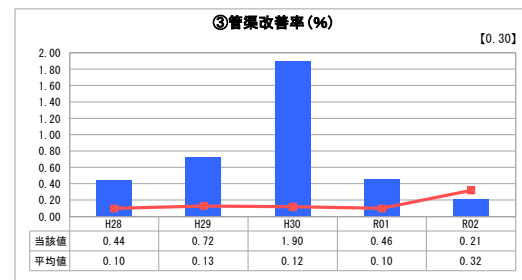
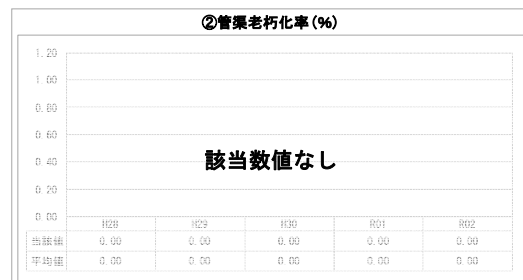
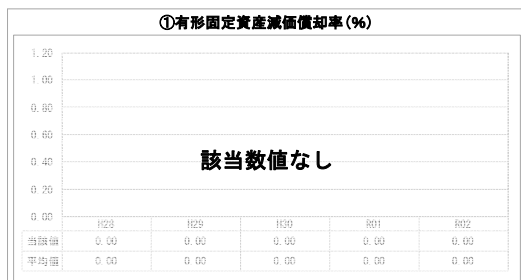
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- 収益的収支比率については、昨年度の81%から2%増加し83%となっている。しかし、100%を割っていることで、経営は厳しい状況である。これからも接続率向上に努める。
- 経費回収率は、使用料の増により100%に、今後も適正な維持管理に努める。
- 汚水処理原価は、類似団体平均値より少し高くなっているが、昨年に比べ下がっている。今後も適正な維持管理に努める。
- 施設利用率については、類似団体平均値より高い数値ではあるが、年間有収水量との関係で施設規模の適正化の検討が必要である。
- 水洗化率は、少しずつ増加している。しかし、類似団体平均値と比較して低い数値なので、今後も普及促進に努める。

2. 老朽化の状況について

- 管渠改善率は、年度によって変動がありますが、計画的に修繕・改良・更新していく必要があります。

全体総括

下水道の使用料増収、維持管理の効率化による経費削減を図り、経営の健全化に努める。また、管渠の耐用年数を考慮し、修繕・改良・更新を計画的に行う。令和6年度より地方公営企業法を適用し、公営企業会計に移行するので、今後もより一層事業運営の効率化や健全化を図っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。